

Q

PRE戦略(公的不動産の積極的活用)の導入をする考えはないか?

A

公共施設の今後のあり方について、方向性を定める目的で調査中

中矢 寿子

問 長引く景気低迷の影響により、地方自治体の財政状況が厳しい中、公的不動産のさらなる効率化や利便性向上に向けた利活用が重要になっている。公的不動産を一元管理できる資産台帳は整備されているのか。

答 現在、財産の調査を行っているが、資産評価をどうするかが難しい。先進地の台帳づくりを参考に、できるだけ早くに整備をしたい。

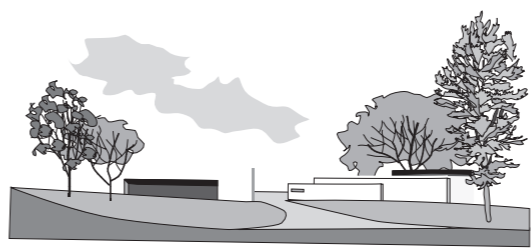
問 ホームページによる公有地売却は、どのように行っているのか?

答 土地評価が変わるため、いつでも売却はできないが、毎年公売している。

問 少子高齢化・人口減少・逼迫する財政等、これらへの対策はあるのか? また、公共施設更新期到来に向けた準備は大丈夫なのか?

答 通常公共団体は、積立金を用意しているが、耐震の問題もあり、一度にすべての更新は難しいので、今後の方針を決めていきたい。

問 限りある財産・財源のもと、住民にとって望ましい行政サービスを提供するため、全庁職員と全市民に向けた



Q

深谷市本田県立特別支援学校前市道安全確保が喫緊の最重要課題

A

検討していく

永田 勝彦

問 深谷市本田県立特別支援学校南側市道は通学路である。排水路に蓋設置等により歩行者用通路を確保。自動車通行が対向車待ち。この状況を改善。危険性や緊急性を考慮し検討する。

深谷市本田川D-13号線の改良

問 県道深谷一嵐山線からの進入通路。ここは川本南小学校・川本南保育園・清風苑・在宅介護支援センター等の公共施設が集中している地区への進入道路である。至急改善改良、整備を。

答 過日草むらや樹木の伐採を行った。実施中の通学路整備を優先したい。

深谷市皇山川C-204号線舗装改良

問 舗装整備後、水道引き込み、集落排水等の掘削工事にて舗装が陥没。降水時、雨水がたまり車両等により通学児童へ雨水がはね危険。改善を求める。

一級河川吉野川最後の魚道整備

問 かつては鯉・鯪・石斑魚の宝庫の吉野川落合橋下流最終魚道構築整備は。



吉野川の美しい風景

花園-Cまっぴんぐのコンテナ

問 本事業の構想・拠点の形成・地域連携PJ・整備スケジュール・総面積・市担当部署は、本案件は市民最大の関心事。反対意見異論に屈せぬこと。

答 県北西部地域の広域的活性化を成し遂げるため、また産業振興・地域活力の維持・都市型公共施設を構築する。

Q

市職員の業務取り組み姿勢は

A

市民の満足感が得られるよう対応していく

高田 博之

問 埼玉県では県庁を最大のサービス産業であるとしている。深谷市も取り組んでいくべきである。

答 市民目線にあった親身な対応を指導している。

問 深谷市役所の劇的なサービス向上はできないか。

答 法令に準じた業務を確実に丁寧に粛々と実施していく。

問 役人というイメージが変わるような新人研修をするべきだが。

答 採用1年目に社会人としての姿勢・マナー、情報システム、文書管理、公務員倫理等で延べ55時間行った。

市の基金運用状況について

市の基金運用は適正か。

答 地方自治法に基づき、適正かつ効率的な運用に努めている。方法としては、長期的運用は国債、地方債、東京電力債による。短期運用は大口定期預金、譲渡性預金及び国庫短期証券により行っている。

問 東京電力は株が値下がりしているが大丈夫なのか。



深谷市役所

株への投資はない。東京電力の電力債が1億9956万円あるが、平成23年度からは運用の対象外としている。

平成22年度の基金の総額は、157億3958万円である。

利益はどのくらいか。3782万円である。

基金運用に対して心がけていることは。確実性・安全性である。

一般質問記事の掲載は、通告順です。

Q

無駄削減目標 7億円の進捗は?

A

平成22年6月補正に約2億3千万円平成23年度予算に約1億6千万円反映

加藤 温子

問 まず徴収が先、平成22年度決算書多額の収入未済の事業がある。住宅新築資金貸付金元利未収額1億4千万円。省エネモラル温室管理事業の土地・建物貸付金未収額7千5百万円。保育園(公立・委託分)保育料未収額8千万円。児童保育室保育料未収額808万円。計約3億3千万円。では事業仕分け、補助金見直し実施で削減額は。目標7億円の進捗と効果・取り組みは。

平成22年6月補正と平成23年度予算への反映額合計、単年度で約4億円。効果は主要事業のあり方を見つめる機会となり、職員の意識改革となった。また廃止・予算減額した事業を複数年度積み上げによる間接的効果もある。今後は外部評価制度で取り組む。

補助金見直し基準及び縮減額と公平性は。(次回、具体例にて質問)

補助金見直しは削減だけを目的としない。5つの見直し基準を設定し、増額・減額・終了もある。削減額は今後の廃止予定を加えると1億7500万円となる。公平性では今まで見直し



「議会だより」はホームページでも見られます。市のホームページを開き、「深谷市議会」、「市議会だより」(PDF版)の順にクリックしてください。創刊号から今号までご覧いただけます。